八代小努力目標

「豊かな心づくり」のために次の３点を目指します。

- 一人一人の居場所作り
- 自らを律する強い心作り
- 痛みを察するやさしい心作り

八代小学校 学校だより

平成 27 年 7 月 15 日　NO5

校長　中村裕一

日本独自の文化「掃育」

オリンピック招致の「おもてなしの心」が話題になって以来、日本人が当たり前と思っていることが、世界から高い評価を受けるようになりました。

その一つに、学校における「掃除」が挙げられます。外国の方からすると子どもたちが学校の掃除をする光景が珍しいそうですが、日本では、昔から、自分たちで使う校舎を、自分たちの手できれいにしてきました。長年、子どもたちに掃除をさせる文化が続いてきた意味は大きいと思います。教育評論家の中には、掃除による豊かな人間形成のことを「掃育」と呼ばれる方もあります。

本校の「豊かな心作り」の柱である「自らを律する強い心作り」の一つに、「掃除や係活動に責任を持って取り組む」という目標を掲げています。

本年度、児童と職員が一緒になり、掃除時間を大切にしています。すぐに校舎内がきれいになったという印象はないかもしれませんが、一心不乱に掃除に取り組む子どもたちの姿を見ると、日本が「掃育」を大切にしてきた理由が分かるような気がします。「雑巾で自分の心を磨く」と昔から言われますが、その通りのようです。

ぬか雑巾による床磨き

夏休みのプール開放について

本年度も、ＰＴＡで複数の専門監視員を配置され、六年生の保護者の皆様の協力により、六日間のプール開放が可能となりました。

「プールカード」への体温等の記入・押印の他、ルールを守って泳ぐよう、各御家庭で指導ください。

救命救急講習の様子

子どもの安全のために協力ありがとうございます

児童の送迎用の車の敷地内への出入りを許可していましたが、六月下旬から校内における児童の安全確保のために、校舎北側の「指定区域」のみ、進入を許可する措置をとらせていただきました。

雨の日には、送迎用の車は、五十台を超える状況です。完全に敷地内への進入を禁止してしまうと、近隣の方々に迷惑がかかることが考えられるため、敷地内の「指定区域」へのみ進入を許可しています。三十一名の本校職員の駐車スペースも確保する必要があり、現在の場所を指定しているところです。

雨の日には地面がぬかるみ、御迷惑をおかけしますが、高額な予算を伴う舗装の措置をすぐに行うことは出来ません。職員と児童による作業及び夏休みのＰＴＡ愛校作業を通して、ぬかるみ対策を行なっていきます。